

特別国民体育大会選手選考基準

沖縄陸上競技協会強化部

1 国体予選会（国体参加資格）

- ① 第35回海邦国体記念記録会兼国体選考会（4/29～30）
- ② 第74回沖縄陸上競技選手権大会兼国体選考会（5/13～5/14）
- ③ 第45回沖縄県中学校陸上競技選手権（5/20）
- ④ 第68高校総体陸上競技沖縄県予選会（5/27～30）
- ⑤ 第69回全日本中学校通信陸上競技（沖縄）大会（6/17～6/18）
- ⑥ 第78回国体最終選考会（7/15～16）

上記の予選会に出場しなかった選手、または出場しなかった種目については選考対象外となる。また、1種目の予選に出場し、代表選手となったものは、予選会に出場しなかった他の1種目にも出場できる場合もある。

2 選考対象競技会（国体選考会を含む）

日本陸上競技連盟が公認とする競技会、記録会すべてとする。

3 選考基準

- 1) 国体選考基準記録（有効期限 令和4年7月25日～令和5年7月24日）
- 2) 期限内に沖縄陸上競技協会強化部が設けている国体選考基準記録（A・B）をもって選考する。
 - ① 強化部で推薦する競技者を選考する。
 - ② 基準記録Aを突破したもののの中から選考する。
 - ③ 基準記録Aの突破者のなかった種目については、基準記録Bを突破したもののの中から選考する。
 - ④ 突破者が複数いる場合は、各種大会の成績等を考慮して選考する。
 - ⑤ 標準記録Aの設定については、国体決勝進出に値する記録として、**前年度ランキング成年20傑、少年A20傑、少年B30傑**を基準とする。
 - ⑥ 標準記録Bの設定については、国体予選突破に値する記録として、**前年度ランキング成年60傑、少年A70傑、少年B100傑**を基準とする。
- 3) リレー種目の編成に関しては、**国体選考会及び選考対象競技会の結果を参考に特性を配慮して選考する場合がある。**その場合、原則として1名以上が短距離種目に於いて標準記録B突破を条件とする。
- 4) 突破者がいない場合は、基準記録と今年度の参加予想選手の競技レベルを調査し選考する場合もある。国体出場の最大枠は29名。
- 5) 長距離・競歩に関しては、標準記録A・Bを突破しなくても、県記録、県高校記録を樹立した段階で選考の対象とする。
- 6) 県外実業団所属選手について、標準記録を突破した時点で選考の対象とする。
(但し、上記1で記載されているいずれかの大会に出場していることを条件とする。)